

SHIN CLUB 154

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「st bldg.」 撮影：鈴木研一

社長年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は巳年です。弊社の創業は事実上2000年の辰年でしたので、干支で一巡し新たなスタートの年となりました。一説によりますと巳年は“物事がいったん終結し新たに出発する年”だそうです。まさに弊社の置かれている状況ではないかと思えます。

昨年の弊社は大変厳しい試練の年でした。しかし、受注におきましては皆様方のご支援のおかげで過去に例を見ない受注量を頂戴して新年を迎えることが出来ました。

本年も、この喜びを噛み締めながら社員一同が一丸となって、ZENグループの行動理念であります「利他・自利」を念頭に、これまで培ってまいりました、特徴ある建築施工「建築屋」に磨きをかけてまいります。

日本は政権も代わり、新政府は経済対策を最重要課題と位置づけました。このことで一時的な盛り上がりは期待出来ませんが、弊社は自己の足元を真摯に見つめ、山が高いときも谷が深いときも、確実に一歩ずつ成長していくスタイルを貫く所存です。どうか昨年同様のご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2013年 元旦

(株)辰 代表取締役社長

森村 和男

st bldg. (世田谷のテラスハウス)

垂直方向の多彩なプロポーションが魅力のコーポラティブ住宅

8戸のメゾネット形式の住戸が収まった、コーポラティブ住宅である。

敷地は、世田谷の閑静な住宅街の1ブロックの中央に位置している。南に隣接する集合住宅とは、駐車場をはさんでおり、採光・通風・プライバシーとも良好で、エントランス部分はオープンにして、各住戸へのアクセスも独立させて一戸建て感覚のゆとりを持たせている。

地下1階+1階、2階+3階のメゾネット形式の住戸は、それぞれが吹き抜けや、3m近い天井高など、垂直方向に変化のある空間となっており、個々の建て主の要望に沿ったインテリアを提供している。

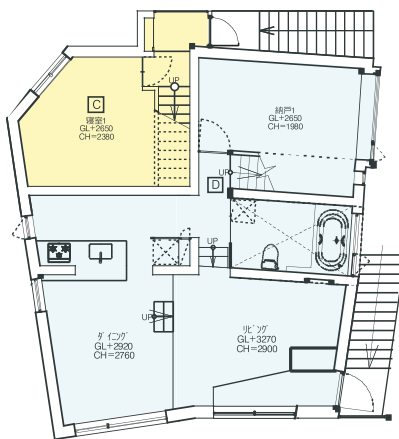
特に、例えば2階を分け合うCとDの住戸は、Cの3階が広い分Dの3階は小さく、Dの2階が広い分Cの2階は小さな部屋とするなど、フロアの面積を無条件に平等に分け合うのではなく、なるべくどの住戸にも普通のマンションでは得られない、大きなゆとりとした空間を生み出すよう、意識した。結果的に、趣味や仕事のスペース、子供部屋など、変化に富んだ小さなスペースも提供している。

内装だけでなく、一部外断熱を施した住戸もあるなど、開口部も含め、スケルトンに関わる部分でも建て主の希望には出来る限り応えようと努力した。

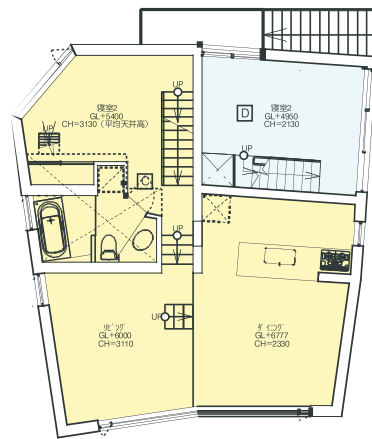
内装材、家具、建具などは、足場板や古材など経年変化に耐えうるものを採用し、コンクリートとのマッチングにも配慮したものを積極的に使っている。

居住者の方々のコミュニティも、施工中から良好で、コーポラティブ住宅の良さを設計者としても実感でき、仕事を堪能させていただいた。

(若松 均氏 談)



西棟 2階平面図



西棟 3階平面図

①東棟 H-type の3階。2階からの階段は、屋上へとつながる
 ②東棟 E-type の地下1階。採光もよく天井までの大きな2段式のガラス扉がフレキシブルに部屋の大きさを変える。右側は和室。足場板は床や階段だけでなく、玄関扉にも採用している
 ③D-Type とフロアを分け合う、C-Type の3階。正面階段の左にも小さなロフトスペースがある。右側のLDKと段差を設けて、広々とした空間にさらに変化をつけている。④西棟 D-type の3階。小幅板のコンクリート打ち放しの壁と足場板の床・天井。輻射暖房を設け、上にあがるとテラスとなっている



所在地：世田谷区
 構造：RC造壁式
 規模：地上3階
 PH階、地下1階
 用途：長屋
 設計・若松均
 プロデュース：アーキネット
 竣工：2012年3月
 施工担当：佐々木
 撮影：鈴木研一

コーポラティブ住宅を選んで

st bldg. 入居者の鈴木様ご一家

打ち合わせで訪れた、設計の若松均氏の自宅の内装を参考に、機能的で使いやすいキッチンを実現。記念写真では子供たちも笑顔を見せてくれました

The Suzuki Family

今月は、P.2でご紹介したコーポラティブ住宅「st bldg.」に入居された鈴木様ご一家に登場いただきます。ご主人の誠一郎様と奥様の智美様とは同じ会社で働く共働き世帯。現在、奥様は産休中。ご一家は新しい家づくりをどのように考えられていたのでしょうか。新居でお話を伺いました。(以下、文中敬称略)

—今回ご自宅を作るにあたり、コーポラティブという形式を選ばれたのはなぜですか。

誠一郎：当初、私は戸建を考えていましたが、かみさんの方がコーポラティブを気に入っていましたね。

智美：何しろきちんと「近所付き合いをしたい」という思いがありました。大きなマンションでは隣にどんな人が住んでいるのかわからないということがありますし、戸建はちょっとがんばらないとハードルが高い。でも8戸という、ほどよいお付き合いができる世帯数。それにコーポラティブは作る時から何度か皆さんとお会いする機会があるでしょう。そこが良かった。

—通常分譲住宅よりインフィルに自分の希望を生かせるところもコーポラティブの魅力ですが、どんな希望をお持ちでしたか。

誠一郎：風通しや日当たり、それから建材の肌触りとか、質感、使いやすさですね。プランではワンルーム、特にリビングを広く取ることと吹き抜けが欲しかったという点です。このリビングダイニングの奥の上下の部屋の階段室が吹き抜けで、上が子供部屋になっています(P2写真④参照)。一どこにいてもお子様の気配が感じられますね。



ダイニングルームでのご一家。後ろのまきストーブは、ご主人の希望で懇暖(ケイダン)オリジナルを採用

智美：最初リビングから奥へ行く通路の途中にトイレがあったのですが、それも抜いてもらうことにしました。キッチンを通らずに奥にいけるし、バスルームにトイレを入れた分、少しコンパクトになりましたが、ガラス扉なので、キッチンから子供に目が届くんです。

「設計の先生との打合せは戸建感覚で楽しめました」

鈴木様ご一家

鈴木誠一郎様(会社員。建築好き。本棚には建築関係の本がたくさん並んでいる)

鈴木智美様(ご主人と同じ会社に勤務。現在産休中)

長女・優希(ゆうき)ちゃん(5歳。水泳とバレエを習っている。4月からは小学校に入学)

次女・愛未(まなみ)ちゃん(8ヶ月。今回の施工中に生まれました)



「st bldg.」D-Typeにお住まいの鈴木様ご一家

撮影：アック東京

—一床に採用された足場板などの内装材はいかがでしたか。

智美：アーキネットの物件情報を見て応募したとき、ちょうど若松先生の「SAKURA FLAT」の掲載雑誌を見る機会があって、「いいな」と思っていました。

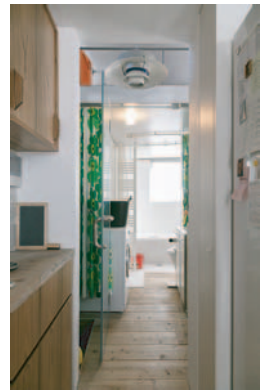
誠一郎：初めはもっとグレードが高い古材が欲しかったのですが、厚みがあって、昼間、日当たりさえ良ければ、冬でも暖房も要らないくらい暖かいですよ。冷たいフローリングよりいい感じですよ。

智美：設置後はじめに見たときは、サンプルよりざらざらしているように感じたので、表面をこすってもらいました。でもだんだん足の油分がしみてきたのか、なじんできましたね。それに、子供にフローリングを傷つけられたというストレスがほんとにないのも助かります。

—ダイニングのまきストーブ、いいですね。

誠一郎：私の希望です。「火のあるところに人は集まる」と言いますが、それだけでなく、震災を経験して、暖房の選択肢は電気だけでなく複数あった方がいいと考えました。

智美：入居者のお友達がここでピザを焼くのを楽しみにしているんです。引越してすぐに、子供たちが一緒に入口前のスペースで、



キッチンから、洗濯機、トイレ、バスルームを臨む

毎日暗くなるまで遊ぶようになって、親たちも仲良くなっていったという感じですね。何度かご飯も食べに行ったりしました。

—一どのお宅のインフィルも個性的なので、楽しいですね。

智美：よそのお宅のアイデアを見て、お互いに「なるほど」と感心して、施工中にもっと情報交換しても良かったなと話しています。今度、物干しのバーを天井の方につけてもらうことにしたのも、よそのアイデアをいただいたんです。

誠一郎：私はもともと建築が好きだし、家は買うものでなく、作るものだと思っています。戸建でなくても設計の先生とのやり取りはできる。それに、施工中で東日本大震災があって、改めて地震の多い日本では、コンクリート造は、耐震の面でも安心できる構造だと痛感しました。

—本日はどうもありがとうございました。



リビング。ロフトの下がバスルーム。今後も、お子様の成長に従い、レイアウトをいろいろと変えていく予定

「この商品に注目！『杉足場板古材』」

株式会社 WOODPRO <http://www.ashiba21.com/>

今月、ご紹介した「st bldg.」の各住戸で床材や扉などに使われていた、「杉足場板古材」。そのラフな味わいが気になりました。メーカーは(株) WOODPRO という広島の子会社です。1987 年創業の会社ですが、2011 年社名を変更、本業である足場板のリースを軸に、足場板ビジネスに本格的に取り組んでいます。

工事現場で作業をする際に設置される足場板。現在はスチールやアルミのものがほとんどですが、木製のものも現場によっては使われています。アジア各地から輸入した木材を使った合板のものもありますが、古来より親しまれてきた杉足場板は、関西以西では根強い人気があり、高速道路、橋梁、各種プラント工事に主に使われて、平均して 3 年～ 5 年の間現場の過酷な条件の下で利用されてから、足場板としての使命を終えます。

さて、その役目を終えた足場板ですが、セメントや塗料が付着していたりするものの、「捨ててしまうの

はもったいない」という先代の声を受けて、第 2 の使用方法を考えた 2 代目が、足場板のリユース（再利用）に本格的に取り組み始めました。

最初はプランターなどを作ってネットで販売を行っていましたが、35mm 厚の板を 27mm まで削りこんでリサイクルウッドとして世に送り出し始め、その後、家具を作って販売、次第に素材としても認知され始めました。そして店舗用の内装材として全国展開を開始、関連商品も好評で、ノスタルジックな味わい、エコ、ローコスト（古材として日本の古民家の古材や北米納屋材よりも安い）をキーワードに、自称「杉足場板の伝道師」の社長は、その有効活用を力説しています。

今回の利用（杉足場板古材なめらか仕上げ）については、設計事務所が材料を 1 年前から取り置きして確保、一部撥水材をかけたところもありますが、塗装もしないで無垢のものが使われています。ご興味のある方は、古材風仕上げの新材であれば、2 週間ほどで入手可能です。



お問い合わせは下記まで

TEL : 0829-74-3716
(平日 8:00 ~ 17:00)

E-Mail :
woodpro_shopinfo@ashiba21.com

「URBANPREM MINAMIAOYAMA (2008)」の設計者、永山祐子氏がアメリカの雑誌『ARCHITECTURAL RECORD』の「DESIGN VANGUARD 2012」に選出されました。 12月6日

アメリカ建築雑誌「ARCHITECTURAL RECORD」が独立 10 年目までの若手建築家を毎年 10 名選出する「Design Vanguard 2012」に、建築家の永山祐子氏が選ばれました。

賞のトップページには「URBANPREM MINAMIAOYAMA」(2008 年弊社施工)の写真が掲載され、永山さんが最初に紹介されています。(写真：阿野太一)

<http://archrecord.construction.com/features/designvanguard/2012.asp>

「今後もこの賞を励みに造り続けていきたい」とメッセージをくださった永山さん。現在は、母親業もこなしながら、香川県の豊島に計画中のプロジェクト「横尾忠則アートハウス(仮)」に取り組んでいらっしゃいます。

外国の建築雑誌は、普通の書店にはなかなか置いていませんが、弊社に近いところでは、青山ブックセンター本店（表参道駅）でお求めいただけます。



「アイエスコート西麻布 新築工事」
上棟式 2012年12月11日



広尾駅から徒歩 6 分、総戸数 14 戸の「サービス付き高齢者向け賃貸住宅」が建ち上がります。
<http://www.iscourt.com/>

所在地：港区
構造：RC 造
規模：地上 4 階
用途：共同住宅
設計：西田研三/テスト・アソシエイツ
完成予定：2013 年 1 月

「A邸 新築工事」 地鎮祭
2012年12月13日



代々木上原駅前の傾斜地に建つ、1 階 RC 造、2、3 階木造のおしゃれな住宅です。

所在地：渋谷区
構造：RC 造+木造
規模：地上 3 階
用途：専用住宅
設計：仲條 雪/JAMMS
完成予定：2013 年 5 月

「綾瀬 Sビル 新築工事」
地鎮祭 2012年12月15日



綾瀬駅前に、地域が明るくなるビルが着工します。

所在地：足立区
構造：RC 造
規模：地上 5 階
用途：店舗・集合住宅
設計：曾我部昌史/みかんぐみ
完成予定：2013 年 11 月

編集後記

・「st bldg.」の取材では D-type のほかにいくつかの住戸を見せていただきました。お客様の思いが反映された、心地よさそうなお部屋ばかりでした。
・「1 年の計は元旦にあり」皆様、どんな新年を迎えられたでしょうか。今年もよろしく願い申し上げます。

(株)辰通信 Vol.154 発行日 2013年1月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL : <http://www.esna.co.jp>